

編集後記

平成16年4月の大学法人化を契機に、全ての技術職員の所属が一元化され、広島大学技術センターが発足しました。これからの技術センターの使命として“世界トップレベルの教育・研究を支える技術支援を計画的・効率的・効果的に実行する”ことにあります。現在、その効率的組織運営等の実現化に向けて種々の方策が検討、計画中であり、実行に移されようとしています。その一つとして、技術センターのシーズ、ポテンシャル及び活動状況を学内外に広報することを目的として本報告集を発行することになりました。記念すべき第1号の編集委員会としてどの程度の原稿が集まるか気がかりなところでしたが技術研究報告、学外研修報告等多数の報告を掲載することができ、総ページ数150ページ余りという、当初の予想を大幅に上回るボリュームとなりました。このことは技術センター職員の意欲の高さと技術的にも高度な潜在力を有しているものと思われま。今後、技術センターでは高度化、多様化する技術支援ニーズに対応するべく技術センター職員のスキルアップが要求されていくところですが、本報告集が本学の教育・研究にとりまして貴重な資料となっていくものと大いに期待できるところであります。

最後に、本報告集発行に際しましてご協力いただいた藤久保昌彦技術センター長を始めとしまして、技術センタースタッフの皆様、学術部研究推進グループ、多くの投稿者の方々へ深くお礼申し上げます。

(M.T)

平成16年度 技術センター報告集編集委員会

- 委員長 輝平 盛重 (工学部等部門)
- 副委員長 柴田 恭宏 (理学部等部門)
- 副委員長 辻村 智隆 (医学部等部門)
- 吉田 朋彦 (情報メディア教育研究センター部門)
- 石佐古 早実 (理学部等部門)
- 池田 佳代 (医学部等部門)
- 藤枝 洋二 (工学部等部門)
- 山城 英和 (生物圏科学研究科部門)
- 仲井 敏 (生物圏科学研究科部門)
- 川北 龍司 (先端物質科学研究科部門)
- 北川 和英 (原爆放射線医科学研究所部門)